

循環器内科でカテーテル治療を受けられる患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は通常診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報公開をすることが必要とされております。この研究に関するお問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会下さい。

【研究課題名】 福井県統一狭心症・心筋梗塞地域連携パス適応症例と、心筋梗塞症例登録事業

【研究機関】 福井県立病院 循環器内科

【研究責任者】 藤野 晋 福井県立病院医療情報管理室長、循環器内科科長、

1. 【研究の目的】 2008年の第5次福井県保健医療計画において地域医療支援病院はかかりつけ医と地域情報を共有しながら地域連携パスを活用し、適切な役割分担と連携を推進することとされた。2009年県別急性心筋梗塞発症率が男性5位、女性20位と高いことが報告された。このような背景があり県内で急性心筋梗塞を施行している全病院、福井県、福井県医師会の協力で統一パスの作成が進められ、2009年1月から準備が整った医療機関から順次統一パスの運用が開始された。更に、その後地域別の正確な発症数と予後の把握のため、福井県内PCI施行全病院と、福井県から転送治療される場合がある京都府舞鶴市の舞鶴共済病院における福井県内で発症した全心筋梗塞症例が2016年より集積され、経時的な統計を行っている。その成果は福井県への報告以外にも日本循環器学会、日本心血管インターベンション学会で報告、論文化されている。その後年月が経ち、地域連携パスで医療情報を医療機関で情報共有する目的が、再狭窄症例の切れ目のない追跡であったものが、再狭窄率が大幅に減少したこと、各種ガイドラインの変更で投与薬剤の内容が変更されたことがあり、改訂作業が必要となった。このような流れの中で2023年1月より改訂版の福井県統一心筋梗塞、狭心症地域連携パスが運用されているが、個人情報削除した医療データを継続登録、解析中である。

2. 【研究の方法】

●対象となる患者さん：2016年1月1日から2032年12月31日までに福井県立病院でPCIを受けた患者さん全員と、心筋梗塞症例全員

●利用するカルテ情報：発症日、年齢、性別、診断（STEMI：ST elevated myocardial infarction（ST上昇型心筋梗塞）、NSTEMI：Non ST elevated myocardial infarction（非ST上昇型急性心筋梗塞、不安定狭心症）、郵便番号まで匿名化した住所、入院期間、地域連携パス適応の有無、退院時の予後、血行再建術の内容

【個人情報の取り扱い】 利用する情報からは、名前、住所など個人情報は削除します。研究成果は学会で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

【問い合わせ先】本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲で研究計画書および関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。また、資料や情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは代理人の方にご了承頂けない場合には研究対象としませんので、2033年12月31日までに下記連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

福井県福井市四ツ井 2-8-1

福井県立病院 医療情報管理室長、循環器内科科長 藤野 晋

TEL 0776-54-5151 FAX 0776-57-2945

窓口：福井県立病院倫理委員会事務局（内線：2043、2047）